

地域の保健サービスを 知ろう

より健康的な生活を送るためには、保健所や保健センターで提供されている「保健サービス」の内容を知り、活用することが大切です。

**保健サービスは
一生を通して活用できる**

両親学級

出産前のお母さんやお父さんが、赤ちゃんを産むための準備や、赤ちゃんの育て方を学ぶための教室などが開かれています。



個別支援

健康問題をかかえる患者や家族のために、家庭訪問や面接による保健指導を行っています。



こころの 病気の相談

悩みがある時や、こころの病気が心配な時に、無料で相談できます。

健康指導・講座

保健師・栄養士などの専門家に、相談できます。また、健康づくりの教室なども開かれています。



赤ちゃんの健診

赤ちゃんの健康状態や発育状態を定期的に検査します。



赤ちゃんや子どもの予防接種

結核予防のBCG接種などが行われます。はしか、水ぼうそうなどの予防接種は病院で受ける場合がほとんどです。



エイズ検査

HIV感染の検査が匿名・無料で受けられます。

保健所と保健センターの違い

保健所

主に都道府県によって運営されており、こころの相談や感染症の相談など専門的なサービスを提供しています。

保健センター

市区町村によって運営されており、健康指導や健康診断など住民に身近なサービスを提供します。



●結核医療が適切に行われているかを
診査する会議のようす（保健所）

地域によって、保健所と保健センターの役割が異なるので、詳しくはホームページなどで確認しましょう。